



## 今月の公開授業

### ① 「世界史・物理教科横断授業」

2年8組 小原 崇裕 教諭 ・ 室井 浩貴 教諭

1/30 (木) 5限目に行われた「建築史と物理の教科横断型授業」は、今回で4回目となりました。初の文系クラスでの実施となりましたが、息ぴったりの2人の先生方のファシリテーション方式で授業は進められ、4回目にして、アーチ型構造の問題は見事解決しました。

授業の流れとしては、例年理科で行ってきたものと同様、アーチ型の橋の強度について学びました。文系諸君らしい(?) 物理的条件を無視した意見が出てきますが、そこは小原先生が物理的視点でフォロー。また、室井先生は、授業を参観しておられた今川先生に数学に関する質問をして、参観者を巻き込みながら終始楽しげな雰囲気での授業を進めておられました。大成功の授業でしたが、志の高い2人は来年度に向け世界史×物理の新しい教科横断型授業の開発に意欲を見せておられます。非常に楽しみです!



### ② 「国語 (漢文) ・ 英語教科横断授業」

1年1組 水嶋 勝彦 教諭 ・ 橋本 洋平 教諭

2/19 (水) 2限目に行われました。生徒たちはグループワークを通して、漢文必携や国語の教科書を読み、英語の構造と似ている句形や文がないか探し出し、ポスターに漢文とその英訳を書き、発表するという作業を行いました。英語と漢文の語順が同じであるという発見とともに、英語の文構造がしっかり理解できていれば、漢文の理解にも役立つということを学んだようです。実際、漢文の問題で間違いが多かった難易度の高い問題も、英文の SVO などの文構造をヒントにすることで、正しい理解につながった、という例もありました。生徒のアンケートからは「英語の発想を取り入れてみることで、漢文の意味についてイメージを膨らませることができた」との声が上がりました。

また、今回公開授業を参観していた先生方から、グループごとの話し合いの進捗状況が授業者に伝えられることで、見えていなかった気づきがあったり、授業の流れが良くなったりする、といった作用もありました。授業者も参観者も一緒になって、より良い授業作りを目指す、という相乗効果が生まれていました。



【ふたりごと】今年学んだこと・反省点を次に活かすべく、次年度も精進したいと思います。(吉村) / 来年度以降に向けてしっかりとスキルを磨いていきたいです。(五十嵐)

## 第10回PT会議より

2/21 (金) に行われた PT 会議では、課題研究発表会に参加した小原先生からの研修報告と、辻崎先生や福島先生から、授業における生徒たちの振り返りについて、取り組みの紹介がありました。その後、日頃の授業において、生徒たちにどのように効果的に学びを振り返らせるか、実践やアイデアについて3、4人のグループで話し合い、発表しました。(以下概要)

**小原先生** 課題研究や授業を通して、どんな力を伸ばせたのか、生徒が自分で振り返り、さらにそれをアウトプットすることにより更に力を伸ばすことができる。

**辻崎先生** 日頃授業で、授業の感想や解いた答えに対する分析等を書かせている。思考の変遷・成長の過程が分かり、今後の課題も見つめ直すことにつながっている。

**福島先生** シートを配布し、最初に授業のねらいを記入させる。最後に3分間時間を設けて、自分が何を学び、どのように考えたかを記入させる。自分がどこまで理解したか見つめ直す時間を設けることで、分からないところははっきりし、授業後、質問に来る生徒が増えた。